



だいせん

DAISEN CITY COUNCIL NEWS

令和3年1月31日
第63号

市議会だより



大雪で迎えた新年

年末から降り続いた雪は、記録的な大雪をもたらし、年明けから、除雪や屋根の雪下ろしに追われる日々が続きました。
今回の豪雪に対応するため、大仙市議会では「災害対策会議」を設置しました。

内 容

CONTENTS

■年頭のあいさつ・第4回定例会の概要	2
■令和元年度決算を認定	5
■一般質問	6
■委員会審査のあらまし	10
■所管事務調査	12
■市民の声 ほか	14

年頭のごあいさつ



大仙市議会議長

金谷道男

市民の皆さまには、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、平素より市議会に對しまして、温かいご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により、社会も人々の生活も大きく様変わりした1年でした。新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方、並びにご家族、関係者の皆さまに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々には快復を願い、心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力なされている医療関係者の皆さまへ敬意を表しますとともに、深謝申し上げます。

さて、誕生から15周年を迎えた大仙市は、合併前の旧市町村がそれぞれ培ってきた行政施策を土台に、市の将来都市像である「人が活き人が集う 夢のある田園交流都市」の実現に向け、確固たる礎と展望を築き上げてまいりました。一方、人口減少や経済・社会の多様化、情報化で、我々を取り巻く環境は激変しており、加えて頻発する自然災害や今般の新型コロナウイルス感染症への対応など、市政の解決すべき課題は山積しております。この課題解決に向け、議会も、これまでの慣習や固定観念を脱し、市民の皆さまとの対話を深め、新たな発想で「熟慮と熟議し決定する議会」「政策提言する議会」「活動する議会」とならなければならないと思っております。

市」の實現に向け、確固たる礎と展望を築き上げてまいりました。一方、人口減少や経済・社会の多様化、情報化で、我々を取り巻く環境は激変しており、加えて頻発する自然災害や今般の新型コロナウイルス感染症への対応など、市政の解決すべき課題は山積しております。この課題解決に向け、議会も、これまでの慣習や固定観念を脱し、市民の皆さまとの対話を深め、新たな発想で「熟慮と熟議し決定する議会」「政策提言する議会」「活動する議会」とならなければならないと思っております。

これからも市民の皆さまの負託に応えられるよう取り組んでまいりますので、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、本年が皆さまにとって健やかで幸多い「コロナ転じて福となる年」であることをご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

第4回定例会

第4回定例会は、11月26日(木)から12月16日(水)までの21日間の会期で行われました。

本会議1日目に、老松市長の市政報告が行われました。また、継続審査となっていた令和元年度大仙市一般会計・特別会計歳入歳出決算15件を認定、市当局提出の条例案3件、補正予算案7件を原案可決しました。

本会議4日目に、市当局提出の条例案7件、単行案13件、補正予算案4件、議会提出議案1件を原案可決

したほか、請願2件、陳情3件を採択、意見書案4件を原案可決しました。

また、一般質問は2日間にわたり、8人の議員が市政全般について市当局に質問しました。



QRコードから録画中継
(大仙市議会Youtubeチャンネル)
にアクセスできます。

※第4回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます。

条例案

▼大仙市役所部等設置条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

令和3年度の組織機構見直しに係るものです。観光・文化・スポーツの各分野で一体となった取り組みを行うため、観光文化スポーツ部を設置し、また、平成29年度の大震災の復旧事業完了に伴い、災害復旧事務所を廃止するものです。

単行案

▼大仙市宮大曲キャンプ場設置および管理に関する条例を廃止する条例の制定について【賛成多数で可決】

【反対討論】

佐藤 文子 議員 (日本共産党)

この「大曲ファミリィキャンプ場」の廃止案は、検討を待たずして切られた感がしてならない。コロナ禍のレジャーとして、キャンプの人气が高まっており、同キャンプ場もこのブームに乗れるよう、魅力ある情報発信に努められたいが、廃止してはそれもかなわない。「利用者が減少したから廃止」という短絡な判断をするより、スポーツ基本法第24条に則り、クマ出没や新型コロナウイルス感染症など、その時々々の問題に対処し、安全・安心なキャンプ場を発信することも市の役割ではないか。同キャンプ場は交通の便も良く、近場で気軽にキャンプを楽しめる施設である。市民が自然の中で仲間と心身を癒やし、一体感や活力の醸成につながるような機会を無くさないでほしい。以上のことから本件に反対する。

第4回定例会の概要

補正予算

▼令和2年度大仙市一般会計補正予算(第14号)【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額からそれぞれ5332万6千円を減額し、補正後の総額は542億6490万4千円となりました。

人事院勧告や人事異動等に伴い、一般職の給与、議員および市長等の期末手当を減額補正するものです。

▼令和2年度大仙市一般会計補正予算(第15・16号)【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億1931万9千円を追加し、補正後の総額は544億8422万3千円となりました。

主なもの

●要支援児童保育対策事業費(保育支援員設置に対する補助金) 809万7千円

●経営再興支援事業費(市内事業者の施設維持経費および市内酒蔵の経営支援補助金) 2740万円

●修学旅行キャンセル料支援事業費(市内小中学校の修学旅行中止・延期に係るキャンセル料に対する補助金) 769万円

●児童書購入事業費(保育所、小中学校の児童図書購入費) 440万円

●ひとり親世帯への臨時特別給付金支給事業費 4311万7千円

このほか、新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止・縮小を受け、各関連予算が減額されました。

請願

▼秋田県主要農作物種子条例の制定を求める請願書【全会一致で採択】

▼大曲金谷町の水害対策に関する請願書【全会一致で採択】

陳情

▼安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るため、国に意見書提出を求める陳情

【全会一致で採択】

▼「新型コロナウイルス対策を強化し、安心して介護を継続できるようにするために介護施策の改善を国に求める」意見書提出の陳情

【全会一致で採択】

▼「新型コロナウイルス感染症を教訓に感染症対策を含めた地域医療構想に見直しすること」を国に求める意見書提出の陳情

【全会一致で採択】

議会運営委員会提出議案

▼大仙市議会議員政治倫理条例検討会議の設置について

【全会一致で可決】

大仙市議会議員政治倫理条例についての協議を行うため、新たに設置されます。



本会議第4日 起立採決(議案第215号)

第4回定例会賛否一覧

議案等名	議決結果	だいせんの会					大地の会					新政会			共産党	市民クラブ	公明党	創生会									
		高橋敏英	佐藤芳雄	古谷武美	橋村誠	児玉裕一	高橋徳久	石塚柏	鎌田正	高橋幸晴	大山利吉	佐藤育男	後藤健	金谷道男	橋本五郎	小松栄治	佐藤清吉	渡邊秀俊	小笠原昌作	佐藤文字	藤田和久	佐藤隆盛	三浦常男	秩父博樹	挽野利恵	本間輝男	富岡喜芳
議案第172号 令和元年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
議案第215号 大仙市営大曲キャンプ場設置および管理に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●

賛成者は○、反対者は●とします。議長は採決に加わらないため、斜線としています。

第5回臨時会



第5回臨時会が10月9日（金）に招集され、市当局提出の単行案1件、補正予算案3件を原案可決しました。

▼令和2年度大仙市一般会計補正予算（第12号）【全会一致で可決】

主なもの

- 農業経営力強化緊急支援事業費（新型コロナウイルス感染症の影響により収益が低下した農業者への支援） 1億2690万5千円
- 道路橋りょう災害復旧事業費（令和2年7月末豪雨により被災した協和地域の市道復旧工事費の補正） 1355万7千円
- インフルエンザ予防接種助成事業費 2億82万7千円
- マイナンバーカード普及促進事業費 8508万1千円



第6回臨時会



第6回臨時会が11月10日（火）に招集され、市当局提出の単行案2件、補正予算案1件を原案可決しました。

▼財産の取得について

【全会一致で可決】

排水ポンプ車（22トン級）1台を購入するもので、取得金額は995万2千円です。



今回取得するものと同型の大型排水ポンプ車

▼令和2年度大仙市一般会計補正予算（第13号）【全会一致で可決】

● 飲食店応援給付金事業費

4022万4千円

議会のうごき

10月

- 6日 議会運営委員会
- 9日 会派代表者会議
- 第5回臨時会
- 各常任委員会審査
- 広報広聴常任委員会
- 19日 広報広聴常任委員会
- 23日 決算特別委員会 正副分科会会長会議
- 29日 教育福祉常任委員会所管事務調査
- 30日 議員研修会（大型排水ポンプ車視察）

11月

- 4日 決算特別委員会 全体会・各分科会審査
- 5日 決算特別委員会 総務民生・企画産業分科会審査
- 6日 議会運営委員会
- 10日 第6回臨時会
- 総務民生・企画産業常任委員会審査
- 決算特別委員会 全体会
- 議員説明会
- 11日 企画産業常任委員会所管事務調査
- 18日 総務民生常任委員会所管事務調査

- 19日 議会運営委員会
- 25日 議会改革推進会議
- 26日 第4回定例会（第1日）
- 各常任委員会審査（企画産業除く）
- 議員全員協議会
- 広報広聴常任委員会

12月

- 7日 第4回定例会（第2日）
- 会派代表者会議
- 8日 第4回定例会（第3日）
- 9日 各常任委員会審査
- 各常任委員会協議会
- 10日 企画産業常任委員会審査
- 14日 議会運営委員会
- 16日 会派代表者会議
- 第4回定例会（第4日）
- 教育福祉常任委員会審査
- 議員説明会
- 議員全員協議会
- 17日 議員研修会（タブレット操作）
- 22日 議会改革推進会議
- 25日 広報広聴常任委員会

令和元年度決算を認定

11月4日・5日に四つの分科会で審査を行いました。

◆決算特別委員長の審査講評(概要)

はじめに、財政の健全化の進捗しんちよくについてであります。主要財政指標である実質公債費比率および将来負担比率ともに、年々比率が改善されていることは評価したいと思います。今後も、今年度実施された国勢調査の人口減少反映により、普通交付税の減額が見込まれる事や、新型コロナウイルス感染症により経済的な影響を受けた事業者および個人所得の減収などにより、市税や地方消費税交付金の減少が予想されることから、事業の見直しや市債発行の抑制、充当可能基金の増強に努めるなど、引き続き、財政の健全化に取り



審査内容を述べる
児玉 裕一 決算特別委員長

組んでいただきたいと思います。

次に、市税等の収入未済額については、収納事務マニュアルや債権管理台帳の整備、債権担当者会議等により滞納整理技術の向上を図る等、関係各課職員の皆さまの日々の努力により減少してきておりますが、今後も課題債権の抽出や対応を強化し、削減に努めていただきたいと思います。

また、事務事業の実施に当たっては、安易に前年を踏襲することなく、常に予算執行状況と効果を確認しながら事業遂行に努めるとともに、その評価を生かし、次年度以降の目標や方針設定にできるだけ具体的な数値目標を定めるなど、予算の「見える化」に努めていただきたいと思います。

なお、当局におかれましては、分科会審査の過程で各委員から寄せられた「改善すべき」または「評価される」とした意見を令和3年度予算編成へ反映されるよう、一層努めて

いただくことを望むものであります。

令和2年度「市民による市政評価」結果報告書を参考にしつつ、今後も市民目線に立った職務の遂行を図るため、職員の皆さまの創造力に期待して、講評とさせていただきます。

◆各分科会の主な審査意見(各意見の中から一部概要を掲載しています)

総務民生分科会

不動産賃借料には多額の経費を費やしている。借地について、真に必要かどうかを見極め精査するとともに、引き続き借り受ける場合にも、漫然と契約更新するのではなく、契約単価の見直しや買い取りの要否についても協議を進め、経費節減に努められたい。

企画産業分科会

シティプロモーション戦略事業については、市の魅力という一般的ななこととして取り組んでいるようだが、観光・交流・商工などにもそれぞれ大仙らしさがあるのでないか。全体的なテーマと、それら個別のサブテーマを含めたトータル的な予算をもつて望まれたい。

教育福祉分科会

奨学資金特別会計について、償還金を納付していただくことは原則としつつも、社会情勢の変化等により収入未済額が増えてきていることから、やむを得ない事情によっては、その償還を免除するなどの検討をしていただきたい。

建設水道分科会

社会資本整備総合交付金を活用した道路改良は、国からの交付金内示額がゼロのため、計画されてから長期にわたり、いまだに完成していない路線がある。社会資本整備総合交付金の交付要件の中で、道路改良以外の要件にも視野を広げ、早期に完成するよう努められたい。

【反対討論】

藤田 和久 議員 (日本共産党)

令和元年度一般会計予算審議において、令和元年10月からの消費税増税を前提に、各種公共施設の利用料の引き上げが行われていること、地方交付税減少による厳しい一般財源を理由に老人福祉費や環境衛生など市民サービス関連の予算の見直し・削減が図られたことなどを指摘し反対した。本決算はその執行であり、認めることはできない。



佐藤 育男 議員
(大地の会)



Q 今後の抱負は

A これからも先頭に立ち、
全力で取り組む

質問 老松市長は就任以来、市民の負託に応え、誠心誠意、全力で市政運営に取り組み、多くの実績を残すとともに、市民からも高く評価されている。

これまでのまちづくりへの手応えと、今後の抱負について伺う。

市長 市民の皆さまの大きな期待と声援に背中を押していただきながら、本市の将来を展望したさまざまな取り組みとして「地域全体の元気づくり」「地域の商工業振興と企業誘致の強化」「攻めのだいせん農業の確立」「子育てや教育の充実」「地方創生への挑戦」など11項目の重点施策を展開してきた。

これまで進めてきた多岐にわたる取り組みは、

徐々にではあるが実を結びつつあり、本市が目指す将来都市像に一步一步、着実に近づいていることを手応えとして感じている。

これまで、さまざまな形で市政運営にご協力してくださった皆さまへの大きな「感謝」の気持ちを持ち、まだ道半ばにあるまちづくりを加速させ、大仙市のより良い未来をしっかりと築いてまいりたいという強い「決意」がある。

山積する課題と正面から向き合い、市民の皆さまと共に考え、共に汗を流しながら、新たな時代の大仙市を創造し、次の世代に確実に引き継いでいくため、これからも先頭に立ち「全ての地域を隅々まで元気にするまちづくり」そして「市民の皆さまが住み良さを実感し、将来に希望が持てるまちづくり」に誠心誠意、全力で取り組んでいく。



佐藤 隆盛 議員
(市民クラブ)



Q 身体障がい者の移動支援事業を検討しては

A 「のりのりきっぷ」の事業と合わせて実施したい

質問 乗合タクシーの登録者数、その中で身体障がい者数は何人か。

佐藤副市長 登録者は全地域で2,220人であり、そのうち身体障害者手帳保有者は349人となっている。

質問 身体障がい者への福祉対策として、特に病院診察など行き先が明確な場合は証明書等確認の上、特例措置として、自宅から乗降場所間の移動支援事業を検討してはどうか。

佐藤副市長 利用者からは、自宅付近から乗降可能な仕組みを求める声が届いているが、交通事業者等と協議を行ったところ、路線バスと競合する部分が多くあり、実現は難しい。この状況を踏まえ、今後は、地域公共交通システムと障がい者支援施策の連携や、75歳以上の方と免許返納者へ交付している交通助成券「のりのりきっぷ」の対象に、新たに障が

い者に加え、現在策定中の第4期地域公共交通計画の中で十分協議しながら、継続できる事業にしてい

◆中学校生活の熱中症対策について

質問 普通教室94教室にはエアコンを設置したが、クラブ活動の場としても使用している音楽室や美術室など特別教室72教室は、なぜエアコンの設置を実施設計に盛り込まなかったのか。

教育長 市の施策全体における事業量のバランスや特別教室の使用頻度を考慮し、学校生活で1日の大半を過ごすこととなる普通教室に設置することにした。

質問 今後の対応と、猛暑対策にはどのように対処していくのか。

教育長 扇風機の活用、スーパークールビズの実施や小まめな水分補給など保健指導を徹底し、生徒の健康管理に努めていく。

○このほか、2期目の市長選出馬について質問しました。



藤田 和久 議員

(日本共産党)



Q 社会的なPCR検査体制を確立できないか

A 発熱等の症状のある方の検査を優先したい

質問 GoToトラベルキャンペーンの見直しを政府へ要請できないか。

経済産業部長 キャンペーンによる市内の宿泊者が増加傾向にある。県内の感染状況や国・県の動向を注視しながら、市民の健康を第一に考え、県内市町村と連携しながら対応していく。

質問 PCR検査を増やし、社会的な検査体制を確立できないか伺う。

健康福祉部長 大曲仙北医師会と協議の上、症状のある方の検査を優先させたい。市としては感染症仮設診療所の運営を延長して、引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めていく。

質問 医療や介護は厳しい状況にある。医療機関への支援金を増やすことはできないか。

健康福祉部長 現在、国では、医療や介護分野の職員には慰労金が、診療・検査医療機関には補助金・協力金が予定されている。さらなる支援が必要かどうかは、今後の動向を注視したい。

◆会計年度任用職員の賃金などについて

質問 会計年度任用職員の賃金・労働条件を、どのように改善しようとしているのか。

総務部長 従来の非常勤の職員が会計年度任用職員に該当し、現在約500名が勤務している。会計年度任用職員の報酬は、職務内容、責任、知識・技能、経験等を考慮し、常勤職員の給与表を適用し、改善を図っている。今後も、常勤職員に順次、人事院勧告等に基づき報酬や労働条件の見直し、改善を行いたい。



高橋 徳久 議員

(だいせんの会)



Q インフルエンザワクチンの供給量は

A 多くの医療機関で不足している

質問 インフルエンザ予防接種事業を利用した人の年代別内訳は。また、昨年と比較してどうか。

佐藤副市長 10月末時点で、生後6カ月児から高校生および妊婦が1,530人で、97人の増。65歳以上が1万1,612人で、9,993人の増。その他3,150人が事業を利用している。

質問 用意されていたワクチンの本数は。

佐藤副市長 製薬会社や市内医療機関ごとの供給量は把握していない。

質問 受験生なども接種できるよう、ワクチン不足の解消を要望しては。

佐藤副市長 国内のワクチン供給の仕組みが、前年度の接種実績等により、各医療機関と製薬メーカー、薬品卸売業者の間で直接取引が行われる自由市場で

あるため、行政機関の介入が認められず、関与できない現状である。

質問 接種可能な医療機関の情報を市で一元管理して、市民に案内してはどうか。

佐藤副市長 市がワクチンの供給量や在庫数を把握して情報提供することは極めて困難であり、医療機関の一覧を紹介して、少しでも接種につながるよう努めている。

質問 接種時の混乱解消について、費用助成と医療機関の紹介以外に、行政としての工夫はないのか。

佐藤副市長 多くの市民が接種できていない点については、医師会と相談しながら、市民が冷静に行動できる事業の在り方や接種の周知方法などを今一度掘り下げて、組み立てを検討していく。

◆新型コロナウイルスのワクチン接種について

質問 接種可能になった際に、どのような対応を想定しているのか。

佐藤副市長 医療機関で行う個別接種と、体育館等で行う集団接種を想定しながら、医師会との連携のもと、全市民に接種できる体制を整備する。



秩父 博樹 議員
(公明党)



Q パートナーシップ宣誓制度の導入は

A 是非を含めて検討したい

質問 性的少数者ニーズの把握のため、全庁横断的に情報の共有化と施策の検討を行うべきと考える。具体的には、公的文書の不要な性別欄の削除について、また、主に中学生向けの啓発の小冊子の作成や多目的トイレの表示を検討すべきと考えるがいかがか。

企画部長 市では「第3次大仙市男女共同参画プラン」の中で「性的マイノリティ等の多様な性への理解促進」を基本施策として掲げている。公文書の性別記載欄については、平成22年度から、申請書などさまざまな様式を定める際に、不要なものは削除してきている。中学生向けの啓発は、教育現場のニーズや啓発手法などの課題も考慮し、教育委員会と連

携して調査研究を行っていく。多目的トイレは、その表示の在り方について研究していく。

質問 パートナーシップ宣誓制度の導入検討を要望するがいかがか。

企画部長 この制度は、パートナーシップを宣誓した同性カップルに対して、そのパートナーシップ関係を証明するという制度であり、現在まで全国65自治体で創設されている。全ての人が個人として尊厳を重んじられ、互いに多様な価値観を認め合いながら自分らしく生きることができるといえる社会の実現のため、同性カップルのパートナーシップを公的に認める制度は意義深いと認識しているが、市としては、国や県、他市の動向も注視しつつ、その是非を含めて検討したい。

○このほか、行政手続きのデジタル化・オンライン申請の推進、押印廃止と書面主義の見直しについて質問しました。



挽野 利恵 議員
(公明党)



Q 冬期間の換気はどうするか

A 「常時換気」や「2段階換気」で対策したい

質問 新型コロナウイルス感染症対策として、冬期間の公共施設、保育園、幼稚園、小中学校における換気はどのように行うのか。

総務部長 天候や気温の影響で、窓を開けての換気が不十分になることも危惧されるが、窓を少しだけ開けて連続的に行う「常時換気」や、廊下やホールなどを経由して行う「2段階換気」などを実施し、感染予防に努めていく。

質問 感染者が出た場合の小中学校の対応は。

教育指導部長 児童生徒および学校関係者が感染した場合、保健所と相談の上、臨時休校の可否を判断する。また、感染者の出欠は、保健所の指導をもとに、出校しない期間を出席停止とする。

質問 子どもたちの心身のケアはどのように行うのか。

教育指導部長 一人一人をきめ細かく観察しながら、スクールカウンセラーによる相談も実施し、心の安定に努める。感染症に関する偏見や差別が生じることがないように、子どもたちに指導し、保護者に対してもお願いをしている。

◆市営住宅について

質問 エレベーター等のバリアフリー化は行われぬのか。

建設部長 現在、仙北地域を除く7地域に、19団地133棟579戸の市営住宅がある。そのうち3階建て以上は21棟であり、エレベーターが設置されているのは3棟、その他18棟の共用階段には全て手すりが設置されている。エレベーター設置の必要性は十分認識しているが、新規に設置スペースが必要であり、^{ばくだい}莫大な費用がかさむため難しい状況である。1階を高齢者用等にするを今後検討していきたい。

○このほか、買い物代行について質問しました。



佐藤 文子 議員
(日本共産党)



Q 公民館職員の雇用主は誰になるのか

A 館長は市教育委員会が任命する

質問 大曲地域の地区公民館が地域へ委託される事に伴い、館長等職員の雇用主は誰になるのか。

生涯学習部長 当初、地域の受託団体での雇用を考えていたが、館長は公民館の使用制限等の権限や、市と連携した公民館事業の企画・立案および市との連絡調整を担う役割があるため、団体には委託せず、市の会計年度任用職員として、市教育委員会で任命する予定である。

質問 大曲地域の公民館には「学び」の機会に不均衡があるようだが、その要因は。

生涯学習部長 現在、大きな不均衡は生じていないが、委託を進めるに当たり「学びの支援」を継続す

るため、基幹公民館の「花館公民館」に社会教育主事を新たに置き、地区間の講座等の機会均等を図りたい。

質問 委託後の公民館事業で、不測の事態が発生した場合の責任は。

生涯学習部長 公民館設置者である市に最終責任がある。実務的には、市で任命する館長が、基幹公民館館長とともに不測の事態に対応することになる。

質問 公民館の委託化は問題があり、中止を求める。

生涯学習部長 持続可能な地域づくりのためには、時代の変化に対応した「学び」を推進していく上で、地域の自治会や機関等との連携、効果的なネットワークの構築を図るための役割を担う、地域住民が主体となった新しいタイプの公民館への移行が必要と考える。これまで地域活性化に貢献している地区コミュニティ会議などに管理運営業務を委託し、行政と一緒に公民館活動の充実を図りたい。



本間 輝男 議員
(創生会)



Q 令和3年度予算は骨格編成か

A 市長選を控え、新規事業を計上せず骨格予算とした

質問 コロナ禍での国の財政状況悪化で、地方交付税等に依存する市の財源確保は。

総務部長 コロナ禍による国税の大幅減収は、地方財政に大きく影響するので、国等が発信する情報を注視し、歳入に見合った予算編成に努めていく。

質問 将来を見据え、公債費の70パーセント以内の市債発行と、基金積立の必要性を感じるが。

総務部長 市債発行額の抑制に努め、財政健全化の指標となる実質公債費比率や将来負担比率は確実に改善が図られているが、さらに将来負担軽減のため、令和2年度から7年度までの市債発行額は元金償還額の70パーセント以内としている。令和元年度末で約33億円の財政調整基金は、財源不足と新型コロナウイルス緊急経済対策事業に7億5千万円の繰入金を計上し、約25億6千万円に減少している。各事業

の進捗状況を見極め、可能な限り積み立てを図りたい。

質問 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国・県自治体の財政運営は不安定な現実にある。歳出の抑制は努力ではなく、必須課題となる。財政課が言う「計画されている事業が、必要かどうか精査する」のは当然であり、大型建設事業の大幅な見直しが必要だと思うが。

市長 来年度はコロナ収束後を見据え、市民生活を最優先し、将来にわたって持続可能なまちづくりのために、事業の有効性・必要性等を検証し、適正な財政運営をしていく。

◆大豆産地化事業について

質問 本年の大豆は減収で、品質低下の予想である。市単独助成「大豆産地化事業」の助成基準要件を緩和しては。

農林部長 天候不順により平均収量で約2割減、うち8割以上が3等級以下と見込まれる。要件の見直しを図り、適正に対応する。

○このほか、人口減少問題と健康・少子化対策、第三セクターと出資法人の課題と方向性について質問しました。

企画産業常任委員会

単行案7件、補正予算案1件、請願1件を審査しました。審査では次のような質疑がありました。

●指定管理者の指定について

【問】この先、施設の老朽化などによる維持管理費の市負担分を考えたとき、早めに地元との協議などを行い、施設存続等の結論を急いだ方が良いのではないか。

【答】公共施設の老朽化は、どの施設も課題となっている。今後新たに設置される専門部署で、存続や廃止も含め、見直しを図ってまいりたい。

●令和2年度大仙市一般会計補正予算(第15号)

「畜産振興費」について

【問】畜産振興費は予算減額を行わず、来年度予定している放牧場の整備に活用するため、前倒しに実施すべきと考えるが。

【答】放牧場の整備事業は、来年度当初予算で施行し、放牧に支障を来さないよう早期完了に努めたい。

「中里温泉管理費」について

【問】中里温泉の改築に向けた基本計画策定に当たり、改築は民間業者の経営圧迫につながらないか。また、基本計画の策定に当たっては、どのように取り組む予定か。

【答】近隣の民間施設との客層は分かれていることを確認している。また、基本計画の策定に当たっては、施設の規模など、近隣の民間業者に配慮しながら十分に検討を行い、計画を作成していきたい。

◇継続審査としていた請願第15号「秋田県主要農作物種子条例の制定を求める請願書」は、願意を妥当と認め、採決の結果、「採択すべきもの」と決しました。

総務民生常任委員会

条例案7件、単行案2件、補正予算案5件、請願1件、陳情1件を審査しました。審査では次のような質疑がありました。

●大仙市役所部等設置条例の一部を改正する条例の制定について

【問】来年度から、生涯学習に係る部分が、教育委員会から市長部局に移管されることとなっているが、生涯スポーツをはじめ、市民に直接関わる事業等は、これまで同様に推進されていくのか。

【答】市民に直接関わる事業等は継続していくことを原則とするが、来年度予算編成の中で事務事業の見直しが行われる場合もある。

【問】それらの事業に携わる職員数はどのようになるのか。

【答】職員数は、事業内容に変更がなければ、現在と同程度の人員を配置する方針だが、今後の人事異動の中で調整される場合もある。

●令和2年度大仙市一般会計補正予算(第15号)

「戸籍総合システム更新経費」について

【問】戸籍総合システムの更新に伴い、戸籍情報の管理をクラウド（ネットワークを経由して外部にあるデータソースを利用するサービス）方式に移行するとのことだが、国が設定したサーバに情報を預けることになるのか。

【答】国が設定したサーバを使うのではなく、システム業者のサーバを使うことになる。当該サーバは、セキュリティの堅牢なデータセンター内に設置される。

◇請願第17号「大曲金谷町の水害対策に関する請願書」は、願意を妥当とし、採決の結果「採択すべきもの」と決しました。

建設水道常任委員会

条例案2件、単行案1件、補正予算案4件を審査しました。審査では次のような質疑がありました。

●令和2年度大仙市一般会計補正予算(第15号) 「水害対策費」について

【問】大雨時における内水排除機能の強化のため、県が管理する河川への排水機場に排水ポンプを増設しても、それはあくまでも補助的なものであり、県管理河川のしゅんせつをしないことには、根本的な解決にはならないと思う。そのことについて、県とはどのような協議をしているのか。

【答】県とは毎年の事業調整会議の場で、各河川ごとにしゅんせつなどをお願いしているが、まだ対応できていない。今後も引き続き、県に要望していく。

●大仙市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
※仙北地域の薬師・福田・払田の3地区の農業集落排水を、県の流域下水道に接続することに伴い、廃止するもの。

●大曲市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例及び大仙市神岡地域公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

※国税等の延滞金割合の見直しに伴い、所要の規定の整理を行うもの。

●秋田県県南地区広域汚泥資源化施設の建設及び維持管理等の事務委託に関する協議について
※本市を含む公共下水道事業から生ずる汚泥を処理するため、横手市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町並びに秋田県と共同で広域汚泥資源化施設を設置し、同施設の建設及び維持管理等に関する事務を秋田県に委託するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの。

上記の3議案については、質疑がありませんでした。

教育福祉常任委員会

条例案1件、単行案3件、補正予算案5件、陳情3件を審査しました。審査では次のような質疑がありました。

●大仙市営大曲キャンプ場設置および管理に関する条例を廃止する条例の制定について

【問】直近3年くらいの利用状況は。

【答】平成29年度195名、平成30年度167名、令和元年度167名であった。

【討論】利用者が少ない状況だが、利用しやすいように改善策を検討して継続してほしい。廃止には賛成できない。

●令和2年度大仙市一般会計補正予算(第15号)
「多目的人工芝グラウンド整備事業費」について

【問】取得予定面積と平米当たりの取得予定価格はどのくらいになるのか。

【答】面積は2万1千から2万4千平方メートル。価格はこの後の用地交渉になるが、不動産鑑定の結果は、平米当たり4千円と出ている。

「総合市民会館運営費」について

【問】コロナ禍の影響により、さまざまな事業等が中止されているが、1月以降中止が決定されているものはあるか。

【答】今現在、今年度の事業等で中止が決定しているものはない。

●令和2年度大仙市一般会計補正予算(第16号)
「ひとり親世帯への臨時特別給付金支給事業費」について

【問】閣議決定により支給されることになったが、給付額の基準は全国一律か。

【答】全国一律となっている。

総務民生常任委員会

当委員会では11月18日(水)、マイナンバーカード普及促進事業と市税収納方法の調査を行いました。

はじめにマイナンバーカード普及促進事業ですが、当市の同カードの普及率が7月末時点で12.4パーセントと県内自治体の中でも低く、カードの普及率向上と併せて、コロナ禍の市内経済を喚起するため、カード取得者に市内店舗で使える商品券(3,000円分)を配布する事業です。11月から市役所本庁市民ホールに申し込み専用ブースを設け、月に2回ほど土日の受け付けも始めたことから急速に申請者が増加しているようでした。行政や税金に関する事務の効率化のため、さらなる普及率向上に向け、より一層啓発活動にも力を入れるべきだと感じました。

次に市税の収納方法ですが、当市では一昨年まで口座振替以外は納付書による納付しかなく、平日の日中しか支払いができないことや県外在住者にとっては納付場所が限られ、また口座振替の加入率も伸び悩むなどの課題を抱えてお

りました。そこでそれらの課題を解決するためコンビニ納付と電子決済による収納を開始し、9月末時点で約45パーセントがコンビニ納付や電子決済による納付となっており、早速導入の効果が出ているようでした。

これらの導入で利便性が向上したことで納期内納付が増え、督促状の発送が減り、職員の事務作業の軽減など市にもメリットがあるようでした。今後は収納率の変動にも注視していかねばならないと感じました。

(委員長 後藤 健 記)



3月定例会日程のお知らせ

2月22日(月)

本会議第1日(市政方針演説、議案等上程)

3月4日(木)

本会議第2日(一般質問)

3月5日(金)

本会議第3日(一般質問)

3月8日(月)

本会議第4日(当初予算質疑、議案質疑、委員会付託)

3月9日(火)・10日(水)・11日(木)

常任委員会審査

3月17日(水)

本会議第5日(委員長報告、質疑、討論、表決)

※現時点での予定であり、変更される場合があります。
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。

議長交際費 (10月1日～12月31日)

項目		件数	金額
予算額			900,000円
既支出額		11件	74,347円
支出額		8件	71,000円
内訳	弔慰	1件	20,000円
	慶祝	6件	31,000円
	協賛	1件	20,000円
予算残額			754,653円

企画産業常任委員会

11月11日(水)、鮭資源等確保活用事業について所管事務調査を行いました。

この事業は、鮭採補事業およびふ化放流事業を通じて、鮭資源の増殖や振興を図り、鮭資源の保護、河川環境の整備、鮭遡上さじょうの保護活動などに寄与しています。

はじめに玉川での現地調査では、雄物川鮭増殖漁業生産組合の三浦組合長より説明があり、その後、設置されているウライと採補状況を視察しました。

玉川は、全国最大級の全幅127メートルのウライが設置されています。川幅いっぱいに設置されたウライが産卵のために回帰した鮭の遡上を阻み、捕獲槽に鮭が誘導され、約7千尾が捕獲されているとのことでした。

つづいて、水産ふ化場で、採卵状況を視察しました。

大仙市水産ふ化場は、県内唯一、内陸にある水産ふ化場で、市が誇る重要な施設となっています。

ふ化放流事業では採卵と人工授精、ふ化の状況を見学することができました。この後、大仙市の川から放流された鮭だという目印を付け、子どもたちの放流事業などを通じ、毎年約240万尾が放流されています。

このほか、中心市街地を流れる丸子川に設置しているウライを活用したイベントなどを行っており、今後はサケ資源を活用した地域の産業として、また地域の文化として取り組みが継続されていってほしいと感じました。

(委員長 大山 利吉 記)



教育福祉常任委員会

10月29日(木)、大曲保育会が運営する「大曲北保育園」と移設予定地、株式会社かえでが大仙市大花町に新たに開園した「かえで保育園大曲」を視察しました。

大曲北保育園は建物の老朽化や園児数の増加により手狭となったことから、幸町へ新築移転することとなっております。現状では園地の隣に無人の老朽化したマンションが建っており、決して良い環境ではないことも移転理由にあたると思ったところです。建設予定地は幸町の住宅街の一角に位置し、広い敷地が確保されており、一日

も早い着工・開園が待ち望まれます。

かえで保育園大曲は大花都市再生住宅近くに建設され、11月2日開園の直前に園内を見学しました。子どもたちが安全で快適に過ごせるようにと、細部にわたってさまざまな工夫が施されており、運営会社の熱意が感じられました。開園時、0歳児14名・1歳児4名・2歳児2名の合計20名が入園されるとのことで、待機児童解消につながったものと思います。

(委員長 高橋 徳久 記)



市民の声

山と川のある街

「山と川のある街」という表現は、わが街大仙市を形容する言葉だといつも考えている。まず、街の西を流れる雄大な雄物川が美しい。雄物川の名前の由来は、「大物の川」だという意味から来ているといわれる。この川は美しいだけでなく、魚や鳥などの多くの自然物を提供し、昔から交通路と運送路になっていく街の生命線である。岸辺には柳、胡桃、榎、樺などの大木が自生し、自然公園の様相を呈している。この岸辺を散歩するだけで心身がリフレッシュされ快適になる。

この川の西側には、太平山と神宮寺岳を頂く羽丘丘陵が控えている。神宮寺岳は奈良時代の延喜式に記載されている鎮守国家の名峰であり、太平山には太平山三吉神社、葉師神社、伊豆山神社などがある霊験新たな神山である。また、その一角にある松山城址は中世の歴史物語を今に伝えている。松山城址から眺める雄物川と大仙市の街並みの美しさは天下逸品である。

昭和始めにわが街を訪ねたドイツ人建築家のブルーノ・タウトは、丸子川の丸子橋から眺めた太平山と川沿いの風景を日本一美しいと絶賛した。つまり、大仙市は世界に誇れる自然と社会とが調和している「山と川のある街」である。

(大曲地域・70代男性)

皆さまの声をお寄せください

大仙市議会では、前号に引き続き、皆さまからのご意見を募集いたします。今回は、特にテーマは設けませんので、自由にご意見をお寄せください。

募集期間

令和3年2月1日(月)～令和3年2月26日(金)

提出方法および必要記載事項

(1)提出方法

次の①～③のいずれかの方法により提出してください。様式の定めはありません。ご自由に記載してください。

- ①郵送 ・宛先:〒014-8601 大仙市大曲花園町1番1号
大仙市議会事務局あて
- ②ファックス ・番号:0187-62-8822
(議会事務局専用ファックス)
- ③メール ・アドレス: gikai@city.daisen.lg.jp

(2)必要記載事項

- ・住所・氏名および年齢を必ず記載してください。
- ・郵送の場合は、封筒の外側、ファックス、メールの場合は、タイトルに、「大仙市議会への声」と明記してください。

注1 いただいたご意見の要旨を、居住地、年代を示した上で、議会だよりやホームページで紹介させていただく場合があります。(掲載例)「大曲地域・40代」「中仙地域・50代」

注2 お電話による受け付けは行いません。

注3 いただいたご意見は、プライバシーに配慮しながら、全議員へ回覧させていただきます。

～前号(第62号)に
お寄せいただいたご意見～

貴重なご意見をありがとうございました。お寄せいただいたご意見の一部をご紹介します。

◆11ページ「建設水道常任委員会所管事務調査」
佐藤育男建設水道常任委員長の報告について

- ①協和地域の市道船沢5号線について、秋田市との協議が必要だと感じられたようだが、その後協議は？
- ②中仙地域の八乙女公園チビッコ広場について、意見交換をされたのはよいが、その後の対応は？
(大曲地域・60代)

【回答】どちらの現場も、昨年11月に災害復旧工事を発注しており、年度内の完成を目指し、現在施工中であります。



広報広聴常任委員会

委員長 挽野 利恵
副委員長 三浦 常男
委員 佐藤 隆盛
石塚 柏
藤田 和久
小笠原 昌作
小松 栄治
後藤 健
佐藤 裕一
児玉 裕一

(委員 佐藤 隆盛)

あけましておめでとうございませす。昨年の今ごろは予想できなかった、この新型コロナウイルス感染症の大流行。この一年を振り返ると、コロナ禍で大仙市の最大イベント「大曲の花火」や成人式など、各種行事の中止や縮小が相次いだほか、小・中学校をはじめ教育機関でも、コロナ対策と児童生徒の健康管理に追われました。また、私も広報広聴常任委員会でも、市民の皆さんと直接話し合う市政懇談会も中止せざるを得ませんでした。何はともあれ、コロナ禍以前に状況を回復させ、将来に向けて歯車を回すことです。市民一人一人が感染に向き合い予防する、それが私たち市民の努めと思い頑張ります。

編集後記